

ロジェ・カイヨワ

菅谷暁 訳

# 石が書く

Roger Caillois

L'écriture des pierres



石の模様を通して〈美しさ〉の根源に迫る、  
稀有なテキスト。

風景石、瑪瑙、セプタリア(亀甲石)など、特異な模様をもつ石。

それらは人の想像力にどう働きかけてきたのか。

石の断面の模様と、抽象芸術作品が交わる地点はあるのか。

聖なるもの、遊び、神話、詩学、夢、擬態といったテーマを

縦横に論じてきた「知の巨人」カイヨワが、

自らが収集した石コレクションをもとに、

「石の美は普遍的な美の存在を示している」と論じた

他に例を見ない論考。

長らく日本語では入手困難であった古典的名著を、  
より理解しやすい新たな翻訳で刊行。

美しい石の断面図版、多数収録。



B5判変型(縦230×横182mm)  
上製・136頁・オールカラー  
定価4,620円(本体4,200円)⑩

2022年  
8月  
刊行

目次

石のなかの画像

あばら屋石

夢の石

セプタリア

ジャスパーと瑪瑙

石の書法——世界の構造

トスカーナの石灰岩

生命の参入——別の書法

注記

図版一覧

原注

訳注

本書掲載図版についての補足

訳者あとがき

著者略歴

ロジェ・カイヨワ (Roger Caillois)

フランスの文学者・批評家。1913年ランスに生まれる。シュルレアリスト・グループとの短い交流ののち、1937年にバタイユらとともに「社会学研究会」を設立。1952年にはユネスコが発行する国際的な学術誌『ディオゲネス』を創刊して編集長となる。『神話と人間』(1938)からはじまる著作のテーマは、神話・聖性・遊び・戦争・幻想芸術・夢など多岐にわたり、「知の巨人」と称される。遠く離れた領域の知を結びつける方法論「対角線の科学」を提唱した。邦訳書に『人間と聖なるもの』『夢の現象学』『遊びと人間』『メドゥーサと仲間たち』『戦争論』『幻想のさなかに』『イメージと人間』『反対称』『蝸』『アルペイオスの流れ』などがある。1978年没。

訳者略歴

菅谷 暁 (すがや・さとる)

1947年生まれ。東京大学文学部仏文学科卒業。東京都立大学大学院仏文学科博士課程退学。科学史・文学専攻。訳書にシリーズ『ゼンメルヴァイスの生涯と業績』(倒語社、1981)、コイレ『ガリレオ研究』(法政大学出版局、1988)、ピュフォン『自然の諸時期』(法政大学出版局、1994)、ゴオー『地質学の歴史』(みすず書房、1997)、ラドウィック『太古の光景』(新評論、2009)、『化石の意味』(共訳、みすず書房、2013)、『デヴォン紀大論争』(みすず書房、2021)などがある。



https://www.sogensha.co.jp/  
 【本 社】 大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL (06) 6231-9010(代) FAX (06) 6233-3111  
 【東京支店】 東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662

〈キリトリ線〉

<p>創元社申込書 この注文書にて最寄りの書店へお申し込みください。 書店ご不便の場合は直送もいたします。</p>	
<p>石が書く ロジェ・カイヨワ 菅谷暁 訳</p>	
<p>ISBN978-4-422-44036-1 C0044 定価 4,620円 (本体4,200円)⑩</p>	
ご住所	〒 ー
お名前	フリガナ
TEL	( ) ー
<p>冊 申し込みます</p> <p>取り扱い店名</p>	